

都市を編集する川

12月刊行
最新刊

— 広島・太田川のまちづくり —

【企画・構想】中村良夫／【著】北村眞一・岡田一天・田中尚人
1800円＋税 ISBN978-4-86327-498-3

人はなぜ 都市をつくるのか

本書は、広島市を流れる太田川と対話しつつ、水辺のデザインに取り組んだ風景学創始者とその弟子たちの記録であり、まちづくりの冒険譚である。

東京女子大学特任教授・東京工業大学名誉教授 桑子敏雄



目次

- 第1章 山紫水明の記憶【近世末期～1976年】
- 第2章 水辺都市広島 of 自画像—設計思想を探る【1976年～1983年】
- 第3章 都市デザインの領域に挑む
—社会工学の思想・発想・構想【1976年～1990年】
- 第4章 水の都整備構想—胎動する水辺のまちづくり【1990年～2003年】
- 第5章 水の都ひろしま—水辺デザインの広がり【2003年～】
- 第6章 水辺を使うというデザイン—創意的な水辺の市民たち

寄稿1 太田川の水辺の計画づくり／寄稿2 活き活きと動き続けることで街の風景となりたい／寄稿3 デルタの街広島の水辺に物語をつくる／寄稿4 もっと水辺が好きになる／寄稿5 水辺の1本ポプラ「ポプラ・ストーリー」／寄稿6 日本一の護岸に集う／寄稿7 映画と街と人

顧みますに、東工大社会工学の設計・研究チームが広島入りした昭和五一年四月といえ、山陽新幹線が博多まで全通したばかり、河川法には環境の言葉は見当たりませんでした。それから、四三年の歳月を経たいま、広島市が高く掲げた『水都ひろしま』の旗印は、大阪、東京、北九州など全国の都市に希望をあたえました。(中略) 「水の都ひろしま」は砂持加勢いらいの長編物語です。「山紫水明」のこぼれを遺した頼山陽を産み育てた広島。その河川史を遡れば、雁木に刻まれた戦前の広島市民と太田川の絆はもとより、戦火の傷の癒えぬ戦後に構想された沿川緑地、そして戦前から戦後にかけて、永い展望をもって実現された太田川放水路事業、震災復興事業、太田川高潮対策事業、水の都整備構想、水の都ひろしま、等々、これらのどれを欠いても現代の水の都はありません。(中村良夫 本書「はじめに」より)

都市を編集する川 — 広島・太田川のまちづくり —

【企画・構想】中村良夫／【著】北村眞一・岡田一天・田中尚人
1800円＋税 ISBN978-4-86327-498-3

個人・書店様注文書

お名前	ご注文冊数
冊	
ご住所 (〒)	お電話番号 ()

【書店様】
ご注文の際には
溪水社宛に FAX
をお送り下さい。

FAX
082-246-7876

番線印

◆お問合せ 直接のご注文は



溪水社

広島市中区小町1-4 (〒730-0041)
E-mail info@keisui.co.jp

TEL (082) 246-7909
FAX (082) 246-7876

書籍の詳しい情報はホームページで
URL: www.keisui.co.jp